

# 標

四年  
画数  
15  
筆順  
オ  
ン  
ヒ  
ヨ  
ウ

成り立ち



「重要（たいせつ）なことを示す」という意味の「票（投票）」と「木（木）」を組み合わせて作った字です。

「たいせつな『目じるし』になる木」という意味の字です。『目じるし』『目標』という意味に使われます。

また、『標準』という意味にも使われます。

標準的、標識、標記。

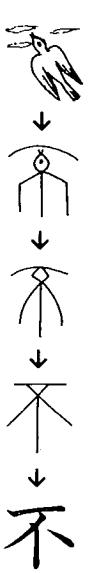
また、『標準』という意味にも使われます。

例標本（標

四年  
画数  
4  
筆順  
画  
数  
4  
オ  
ン  
ヒ  
ヨ  
ウ

一  
ア  
オ  
不

成り立ち



鳥が空に向かってとび去つて行く形を表した字です。

鳥が空にとび去つてしまつて地上に「いない」ということとで、ものが「ない」ことを表したもののです。「…ではない」という意味で、いろいろなことばにつけて使われます。

例 不幸（幸せでないこと）、不安、不当、不思議、不安定、不合理、不可能、不公平。

同じように「……でない」という意味に使われる字に「非」があります。この字は「非行」、「非番」というように物事の名前のことばの上に使われますが、「不」は物事のじょうたいを表すことばの上に使われるちがいがあります。

- △ 不安（安心でないこと。気がかりな状態。「あしたの遠足が雨で中止になるのではないかと、ふと不安になつた」などというふうに、つかいます。）
- △ 不当（正当でないこと。「不当な扱いを受けたので、腹が立つた」などというふうに、つかいます。）
- △ 不思議（考えてもよくわからないこと。「あのケチな人がおこづかいをくれるなんて不思議なことがあるものだ」などというふうに、つかいます。）
- △ 不安定（安定していないこと。）
- △ 不合理（合理的でないこと。）
- △ 不可能（できないこと。）

## 熟語例

- △ 不安（安心でないこと。気がかりな状態。「あしたの遠足が雨で中止になるのではないかと、ふと不安になつた」などというふうに、つかいます。）
- △ 不当（正当でないこと。「不当な扱いを受けたので、腹が立つた」などというふうに、つかいます。）
- △ 不思議（考えてもよくわからないこと。「あのケチな人がおこづかいをくれるなんて不思議なことがあるものだ」などというふうに、つかいます。）
- △ 不安定（安定していないこと。）
- △ 不合理（合理的でないこと。）
- △ 不可能（できないこと。）

わたしはジョギングを始めました。県庁の建物を目標にして走っています。一日三キロ走ると、標準の距離になります。多い日は四キロ位走ります。

ぼくは夏休みに昆虫採集をしました。主に蝶を集めました。きれいな蝶は標本にして、ガラスの箱に入れました。夏休みの良い記念品ができました。